

## 第26回講義 参考資料

### 参考判例等

- 1) 大判大5・12・25民録22輯2494頁（主たる債務者の時効利益の放棄と保証人の責任）
- 2) 大判昭9・1・30民集13巻103頁・PⅡ93関連判例⑬（賃借人の保証人の死亡と保証債務の承継）
- 3) 大判昭12・6・15民集16巻931頁・PⅡ93関連判例⑭（賃借人の死亡と保証人の責任）
- 4) 最大判昭40・6・30民集19巻4号1143頁・PⅡ88（特定物の売主の保証人の負う債務）
- 5) 最判昭62・9・3判時1316号91頁（物上保証人による被担保債務や物上保証の存在の承認の効果）
- 6) 最判平2・12・18民集44巻9号1686頁（物上保証人の事前求償権の有無）

### 共通的到達目標モデル案（修正案）

#### 第3節 保証債務

- ◆保証とはどのようなものであり、どのような場合に保証債務が生じるかを説明することができる。
- ◆保証債務の附従性・随伴性の内容について、その具体的帰結を含め、説明することができる。
- ◆保証人の求償権がどのような場合に生じるか、その行使の手續等について、条文を参照しながら、説明することができる。
- ◆連帯保証と単純保証の違いを説明することができる。